

中学歴史プリント（過去問類似）

室町時代

名前

得点

/10

問1 室町時代の日明貿易（勘合貿易）の仕組みについて、日本側と明側で半分ずつ保管し、入港時に照らし合わせて本物であることを確認した札の名称を選びなさい。（2018年 佐賀公立入試 類似）

1. 勘合 2. 朱印状 3. 引換券 4. 割符

問2 室町幕府の第3代将軍であり、約60年間にわたって続いていた南北朝の分裂を1392年に終わらせ、国内の統一を成し遂げた人物は誰ですか。（2015年 千葉県公立入試 類似）

1. 足利尊氏 2. 足利義満 3. 足利義政 4. 足利義昭

問3 13世紀後半の元寇（モンゴル軍の襲来）から、14世紀に足利尊氏が鎌倉幕府を倒して室町幕府を開くまでの動乱期において、みそが広く普及した主な理由として適切なものはどれですか。（2022年 宮城県公立入試 類似）

1. 戦場へ持ち運びができる便利な携帯食として活用されたため 2. 大陸との貿易において主要な輸出品となったため 3. 朝廷が全国の農民に栽培と加工を義務付けたため 4. 仏教の儀式で供え物としてのみ使用が許可されたため

問4 室町時代の第3代将軍である足利義満は、京都の北山に金閣を建てるなど、公家と武家の文化が融合した北山文化を築きました。この時代、足利義満の保護を受けて大成された、猿楽や田楽を源流とする日本の伝統芸能は何ですか。（2016年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 能 2. 歌舞伎 3. 人形浄瑠璃 4. 雅楽

問5 室町時代には農業技術が大きく進歩し、土地の生産力が高まりました。この時代に西日本を中心に全国へ広まった、同じ耕地で1年間に米と麦を交互に栽培する農法と、当時普及した肥料の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 和歌山公立入試 類似）

1. 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料 2. 二毛作と、油かすや干鰯などの購入肥料 3. 三毛作と、牛馬の糞尿を用いた肥料 4. 輪作と、化学的な成分を含む肥料

問6 琉球王国の王城である首里城の建築様式や歴史的背景に関する記述として、最も適切なものはどれですか。（2018年 群馬県公立入試 類似）

1. 中国や日本などの影響を受けた独自の建築様式を持ち、国際交流の象徴となっている。 2. 完全な和風建築であり、室町幕府の守護大名が住む館と同じ構造で造られている。 3. 薩摩藩の武家屋敷としての機能を重視し、軍事的な防衛能力のみで特化している。 4. 平安時代の貴族の住居である寝殿造の影響を強く受け、左右対称の美しい庭園を持つ。

問7 琉球王国は、明（中国）や日本、朝鮮、そして東南アジアの諸国を結ぶ地理的な利点を活かして繁栄しました。各地の産物を仕入れ、それを別の国へ販売することで利益を得る、当時の琉球の主要な貿易形態を何といいますか。（2023年 和歌山公立入試 類似）

1. 中継貿易 2. 勘合貿易 3. 南蛮貿易 4. 朱印船貿易

問8 中世の有力な港町に関する記述として、外交上の重要な拠点となり、貿易による経済的な富を背景に有力な商人が自ら町を運営する力を蓄えた「自治都市」の説明として最も適切なものはどれか。（2021年 奈良公立入試 類似）

1. 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。 2. 石山本願寺を中心として門前町が形成され、一向一揆の政治的・軍事的な拠点となった。 3. 蝦夷地のアイヌ民族との交易を独占的に行い、アイヌ文化と和人文の接点となった。 4. 元軍の再来に備えるため、博多湾の沿岸に大規模な石の防塁が築かれた。

問9 室町時代の農村において、農民たちが自治を行う際、重要な事項を決定するために開いた会議と、そこで定められた独自のルールの組み合わせとして正しいものはどれか。（2023年 大阪公立入試 類似）

1. 寄合 - 村掟 2. 評議 - 式目 3. 座談 - 法度 4. 合議 - 定書

問10 後醍醐天皇が行った「建武の新政」が、わずか2年余りで崩壊し、武士の支持を失った主な理由として適切なものはどれか。（2021年 高知公立入試 類似）

1. 元寇の際の恩賞が不足し、全国の御家人が深刻な財政難に陥ったため。 2. 倒幕に協力した武士の権利や土地支配の慣習を軽視し、公家を優遇する裁定を行ったため。 3. 観応の擾乱と呼ばれる足利氏内部の争いが発生し、軍事的な指揮系統が乱れたため。 4. 京都に二人の天皇が並び立つ南北朝の動乱が収束し、朝廷の権威が低下したため。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 勘合	日明貿易では、偽造を防ぐために「勘合」と呼ばれる帳簿の切り紙（合い札）が使われました。日本側と明側がそれぞれを照合することで、正式な使節であることを証明したため、この貿易は「勘合貿易」とも呼ばれます。選択肢にある「朱印状」は戦国時代末期から江戸時代初期にかけての貿易で用いられた許可証であり、混同しないよう注意が必要です。
問2	答え 2 足利義満	足利義満は室町幕府の権力を確立させた将軍です。南朝と北朝の合体を達成したことで、幕府による全国的な支配体制を盤石なものにしました。また、金閣を建立するなど文化的な側面でも大きな足跡を残しています。
問3	答え 1 戦場へ持ち運びができる便利な携帯食として活用されたため	鎌倉時代末期から南北朝の動乱にかけては武士の活動が活発化した時期であり、合戦が相次ぎました。このような背景の中、保存性が高く栄養価も豊富で、持ち運びが容易な「戦時の携帯食」としてみそが重宝されたことが、中世における普及の大きな要因となりました。
問4	答え 1 能	室町時代の北山文化において、観阿弥・世阿弥の親子が、それまで民衆の間で行われていた猿楽や田楽などの芸能を、幕府の保護を受けながら芸術的に高め、現在の「能（能楽）」の形へと完成させました。
問5	答え 1 二毛作と、草木を焼いた灰などの肥料	室町時代には、灌漑施設の整備や品種改良が進んだことで、夏に米、冬に麦を作る二毛作が全国的に普及しました。また、生産量を増やすために、草木を焼いた「草木灰（そうもくはい）」や、草を土に埋めて腐らせた「刈敷（かりしき）」などの自然由来の肥料が広く使われるようになりまし。江戸時代に一般的になる油かすなどの購入肥料とは区別が必要です。
問6	答え 1 中国や日本などの影響を受けた独自の建築様式を持ち、国際交流の象徴となっている。	琉球王国は中国と朝貢貿易を行い、同時に日本とも深い関わりを持っていたため、首里城の建築には両国の文化が融合した独自の様式が見られます。例えば、龍の装飾などは中国の影響を強く受けています。これは、当時の琉球が中継貿易の拠点として多様な文化を受け入れていた背景を反映しています。
問7	答え 1 中継貿易	琉球王国は、明との朝貢貿易を通じて得た中国の産物（陶磁器など）を日本や東南アジアへ売り、逆に東南アジアの産物（香料や象牙など）を日本や中国へ転売する役割を担いました。自国の産物だけでなく、他国の物産を流通させることで利益を得る仕組みを中継（なかつぎ）貿易と呼びます。
問8	答え 1 堺の豪商たちは会合衆と呼ばれ、合議制によって行政や裁判などの町政を自主的に担った。	堺は和泉国（現在の大阪府）に位置する港町で、日明貿易やその後の南蛮貿易の拠点として莫大な富が蓄積されました。その経済力を背景に、領主の支配を強く受けるのではなく、有力な商人（会合衆）が自分たちで町のルールを決め、運営を行う仕組みを持っていました。他の選択肢にある「一向一揆の拠点」は石山（大坂）、「アイヌとの交易」は北海道方面、「防塁」は元寇の際のものであり、自治都市としての堺の特徴とは異なります。
問9	答え 1 寄合 - 村掟	惣の運営では、有力な農民たちが「寄合」と呼ばれる会議を開いて意思決定を行いました。そこでは、入会地の利用規則や祭礼の運営、犯罪の処罰など、村の秩序を維持するための「村掟（むらおきて）」が定められました。これにより、農民たちは領主に対抗して年貢の減免を求める強訴（ごうそ）などを行う団結力を備えるようになりました。
問10	答え 2 倒幕に協力した武士の権利や土地支配の慣習を軽視し、公家を優遇する裁定を行ったため。	建武の新政では、それまでの武家社会で重視されていた土地の領有権や武功に対する評価が軽視されました。特に、土地の権利を認める手続きにおいて公家が優先されたり、武士の不満を解決する仕組みが不十分であったりしたため、多くの武士が足利尊氏側に味方する結果となりました。選択肢にある観応の擾乱は室町幕府成立後の内紛です。